

小学校第4学年 国語科 単元名「調べたことを整理して報告しよう」

1 本単元で人権教育を進めるにあたって

本単元は、教材文を読み、興味をもったことについて話し合ったことをもとに、自分の課題を決め、調べ、発表する活動を通して、伝えたい目的を明確にして話すことができる力や話の中心に気付いて聞く力をつけることをねらいとしている。

わたしたちの社会は、いろいろな人が周りの人やものとさまざまな方法でかかわっている。本教材は、そのことに気づき、自分たちの生活を見つめ直す中で、よりよくかかわり合うことについて自分の考えを広げたり深めたりすることが期待できる。ここでは、身近にあるさまざまな点字や目の不自由な人の生活等に目を向けさせ、「言葉や文字」「体の不自由な人とのコミュニケーション」について知的理解を図り、調べたことを発表し合う活動の中で、他者を尊重しようとする態度を育成したい。

このような相手を大切にしたい聞き方、話し方を身につけさせ「能動的な傾聴、適切な自己表現等を可能とするコミュニケーション技能」（技能的な側面）を育むことは、学んだことを自分たちの日常生活や体験と結びつけて考え、いろいろな人とよりよくかかわっていくために進んで行動する力につながると考える。

2 単元の目標

相手や目的に応じて、話の内容を明確にして話したり、話の中心に気を付けて聞き、質問したり感想を述べたりすることができる。

3 人権教育を通じて育てたい資質・能力

- 他者の思いや考えを尊重して受容しようとする。（価値的・態度的側面）
- 調査や発表活動を通して、相手の思いや考えのよさや自分との違いを共感的に受け止めるとともに、自分の意見や感想に自信をもって表現することができる。（技能的側面）

4 指導のポイント

（1）人権感覚を育てる上で大切にしたいポイント

- 発表会では、ポスターセッションやワークショップなど、全員がお互いの発表を聞けるように、発表方法などを工夫する。相手を大切にしたい聞き方と発表の仕方ができるように意識させ、支持的雰囲気の中で発表や伝え合いの学習ができるようにする。
- 道徳や総合的な学習の時間など、他教科との関連を図り、擬似体験活動や交流会などを取り入れ、コミュニケーションの技能や他の人の立場に立って考える想像力が培われるよう、系統的・計画的に実施する。

①自己存在感

児童の生活体験や生活環境の実態、興味・関心を把握し、他教科との関連を踏まえて、様々な視点から取り組めるように課題提示の工夫を行う。

②共感的人間関係

話し合いや発表会のときには、相手を大切にしたい聞き方と発表の仕方ができるように意識させ、支持的雰囲気の中で学び合わせる。また、自分との違いや他者のよさから学ぼうとする態度を育てる。

③自己選択・決定

課題解決のために集めた情報の分析、整理の方法や発表の仕方を提示し、児童の実態に応じて選択できるようにする。

5 学習の流れ

(1) 指導計画（15時間取り扱い）

※光村図書「だれもがかかわり合えるように」の例

学習活動	人権尊重の視点を踏まえた指導上の留意点等
1 冒頭部分を読み、教材のねらいを確かめ、学習課題や単元を貫く言語活動を決め、学習計画を立てる。【2時間】	○これまでの学習や資料から、人と人、人ともとのよりよいかかわりについてお互いの考えを交流させる。 ○一人一人の関心や意欲を高めつつ、見通しをもって能動的に学習が進められるようにする。
2 伝える相手と目的をはっきりさせて、調査内容などを決める。	○学級の人に伝えるという相手意識、目的意識をはっきりさせる。
3 目的に合わせ、調査方法を考え、調査計画を立てる。	○児童の実態に合わせた調査の方法や計画となるよう支援する。
4 計画に沿って取材活動を行う。【3時間】	○各グループの取材相手や内容を把握し、関係機関に対して、事前に連絡を取っておく。 ・体験交流相手校（特別支援学校、老人施設など） ・専門機関（点字、手話、盲導犬、高齢者、介助犬、車いす用駐車スペースなど）
5 調べた情報を分類・整理する。	○観点に沿って集めた情報を、話したい内容が明確になるように整理させる。
6 伝えたいことを選び、構成を考えて発表原稿を書く。【2時間】	○調べて分かったこと（事実）と自分の考えを区別して原稿を書かせる。

7 分かりやすく伝えるために必要な資料等を作成する。	○課題解決に適した提示方法を選ばせ、見やすさを考えて作成させる。
8 聞き手に分かるような発表になるように、発表の練習をする。 【2時間】	○友達とアドバイスをし合い、よりよい発表になるよう練習させる。 ○よい発表ができるようになっているグループを紹介して、認め合えるようにする。
9 発表会を行い、調査、発表を振り返る。 (本時)【2時間】	○グループで練習してきたことを、自信をもって発表させる。 ○聞き手は、話している人に体を向けて聞き、意見や感想を伝えることができるようにする。 ○内容と発表の仕方の視点で、友だちの発表のよさに気付かせる。 ○学習の始めと比較し、自分の考えが深まったことに気付かせる。

※個人発表、ポスターセッション、ワークショップなど、あらかじめ発表内容やテーマによって、学級全体を1時間目発表と2時間目発表の2つに分けておく。1時間で「発表、交流、振り返り」を行い、これを2回行う。1時間目に発表、聞き方、振り返りの視点を明確にすることで、2時間目の交流、振り返りが深まるようにする。

(2) 人権尊重の意識と実践力を養う学習活動例 (光村図書 14、15時間目)

目標

◇聞き手の反応を確かめながら工夫して発表したり、話の中心に気を付けて聞き、質問や感想を述べたりすることができる。

人権教育で育てたい資質・能力

◆相手の伝えたいことを能動的に聞いて理解し、質問や感想を伝えることができる。

主な学習活動	○指導上の工夫・留意点 評価◇◆	備考
<p>1 本時のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>●聞く人に分かりやすいように気を付けて発表しよう。 ●学習を振り返って、学んだことを伝え合おう。</p> </div>	<p>○学習計画に沿って進んでいることを認識させ、意欲をもたせる。</p>	
<p>2 調べたことの発表会を行う。</p> <p>◎発表者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手の反応を見ながらよい姿勢で見えやすい立ち位置で話す。 ・声の大きさ、速さ、強弱、間の取り方に気を付け、大切なことを落とさずに話す。 <p>◎聞き手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大切なことを落とさずに聞く。 ・疑問に思ったことなどを質問したり、思ったこと考えたことを伝えたりする。 ・発表の仕方気付いたことを伝える。 ・意見や感想、質問をメモしながら聞く。 	<p>○学級の全員が発表できるように、人数に応じた形態で発表会を行う。</p> <p>◇相手意識をもって調査結果や自分の考えを分かりやすく発表し、友だちの発表に対して自分の意見や感想を伝えている。</p> <p>◆友だちの発表を、能動的に聞き、発表についての質問や感想を伝えている。</p> <p>○自分の考えや今後の発表の参考になった発表を明確にさせる。</p> <p>○「Aさんの発表で…のことを初めて知って驚いた。」「自分は…と思うけど、Bさんの考えもいいと思う。」のように、友だちの発表の要点をとらえ、感想や意見、疑問を伝えるような話し合いをするために、「話し方名人」「聞き方名人」を意識させ、自分の考えと同じところや違うところ、その理由等が言えるようにする。</p>	<p>資料①</p> <p>資料②</p>
<p>3 発表を振り返ってシートに書き、分かったことや考えたこと、学んだことを伝え合う。</p>	<p>○調べて発表することのよさを確認し、自分の考えを広げたり、分かったことを日常生活での行動に生かそうとしたりする記述があれば意図的に指名して全体に紹介する。</p>	<p>資料③</p>

6 資料

○光村図書 国語四上 かがやき

- 5 調べて発表しよう だれもがかかわり合えるように
pp. 104~116

○東京書籍 新しい国語四下

- 5 調べたことをポスター発表で報告しよう 「報告します、みんなの生活」 pp. 91~99

※東京書籍「報告します、みんなの生活」の例（12時間取り扱い）

学習活動	人権尊重の視点を踏まえた指導上の留意点等
1 資料を提示して発表することのよさを知り、身の回りの生活の工夫について調べ、発表する見通しをもつ。【2時間】	<ul style="list-style-type: none"> ○他教科や総合的な学習の時間と関連させ、身近な福祉の問題を取り上げる。 ○一人一人の関心や意欲を高めつつ、見通しを持って能動的に学習が進められるようにする。
2 グループごとに身の回りの工夫（福祉）について調べる。調べて分かったことを集め、発表で伝えたいことを話し合う。【4時間】	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア活動や福祉施設などでの交流体験、インタビューや調査をするときは、グループで協力して行わせる。 ○グループの発表で伝えたいことを話し合う際は、お互いの意見を尊重しながら集約していくようにさせる。
3 何をどの順で発表するか、どこでどの資料を提示するかを話し合う。それぞれの発表の役割を決め、資料を使った発表の練習をする。【4時間】	<ul style="list-style-type: none"> ○話したい内容が明確になるように、観点に沿って集めた情報を整理させる。 ○調べて分かったこと（事実）と自分の考えを区別して原稿を書かせる。 ○課題解決に適した資料を選ばせ、見やすさを考えて作成させる。 ○友達とアドバイスをし合い、よりよい発表になるよう練習させる。 ○よい発表ができるようになっているグループを紹介して、認め合えるようにする。
4 調べたことの発表会を開き、学級全体で聞き合う。分かりやすい発表だったか、資料は効果的だったか伝え合う。 （本時）【2時間】	<ul style="list-style-type: none"> ○グループで練習してきたことを、自信をもって発表させる。 ○相手を大切にしたい聞き方や発表の仕方を確認させ、安心して発表できるようにする。 ○聞き手は、話している人に体を向けて聞き、意見や感想を伝えることができるようにする。 ○内容と発表の仕方の視点で、友だちの発表のよさに気付かせる。


【資料】話し方・聞き方名人の例

話し方名人になろう(中)

みんなを見て話そう。
さいごまではっきりと話そう。
友だちと交たいしながら話そう

(意見) はい。わたしは、 と思います。
(さんせい) わたしは、さんと同じです。
(つけくわえ) さんにつけくわえます。
(はんたい) わたしは、さんのいけんにはんたいです。
(しつもん) さんにしつもんします。
(まとめ) まとめると

りゆうをつけて話そう。
りゆうは、だからです。



聞き方名人になろう(中)

正しいせいで聞こう。
顔を見てさいごまで聞こう。
自分の考えとくらべて聞こう。

- ・はくしゅ
- ・うなずき

意見をつなげよう。

- ・同じです。
- ・にています。
- ・ちよつとちがいます。
- ・つけくわえます。
- ・ほかにもあります。
- ・しつ問があります。

まとめます。



【資料】聞くときのメモの例

さん(グループ)の発表

わかったこと

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

思ったこと(にたような体けんがあったら書こう)

- ・

【資料】発表会振り返りシートの例

発表会をふりかえろう

名前 ()

発表会のしかたについて (よくできた できた もう少し)

発表するとき		聞くとき	
聞いている人が見やすい位置 に立って話す		内容や発表のしかたに ついて意見や感想をもつ	
聞いている人の顔を見ながら 話す		自分のこととくらべて感想 を言う	
話す速さや間を考えて話す		知りたいこと分からないこと を質問をする	
大事なことを落とさずに話す		話す人を見てよいしせいで 聞く	

これからの学習や生活にいかしたいことは何ですか。